さくらだより【38号】

2014年3月22日発行

国内の太った人の割合は男性で約30%、女性で約20%とされています。かくいう私も肥満の仲間に入らんとしている昨今ですが。ここ数年増加傾向は頭打ちですが男性の場合過去30年で12ポイントも増えているようで体型も欧米化しています。国民全体のカロリー摂取量は減り続け、運動習慣のある人も増えているにもかかわらず肥満者が減る兆しはありません。太る仕組みを解明する研究は食欲を調節するホルモンと肥満者に共通する遺伝子を調べるという2点に集約されています。現時点で解明されている遺伝子は以下の6種類ですが、まだその働きの十分な解析は研究途中です。従って夢のやせ薬はまだまだ先のこととされています。皮下脂肪ではなく内臓に畜えられる脂肪細胞が病気と深く関連することがわかっています。肥満を引き金に糖尿病や高血圧、心筋梗塞などにかかる危険性は高まるので、美容面のみならず生活習慣病の予防のためにも注意しましょう。

	遺伝子名	概要
エネルギー倹約遺伝子	・ベータ２アドレナリン受容体	脂肪の分解が活発で筋肉がつきにくく肥満になると減量しにくいタイプが、日本人の16%を占める
	・ベータ３アドレナリン受容体	基礎代謝量が少なく脂肪がたまりやすいタイプが、日本人の34%を占める
	・脱共役たんぱく質１	脂肪の分解がゆっくりでたまりやすいタイプが、日本人の16%を占める
肥満発症遺伝子	・レプチン	食欲を抑制するホルモンを作れずに肥満になる。極めてまれ
	・POMC	食欲を抑制するホルモンの減量を作れずに肥満になる
	・FTO	人種を問わず食欲の調節に関係するとみられる

月並みですが、肥満指数の計算式と基準を示しました。

Body Mass Index の計算式

$$BMI = \frac{\text{体重（キログラム）}}{\text{身長(メートル)} \times \text{身長(メートル)}}$$

18.5未満	低体重
18.5以上25未満	普通
25以上30未満	肥満（1度）
30以上35未満	肥満（2度）
35以上40未満	肥満（3度）
40以上	肥満（4度）

（注）日本肥満学会の基準　グラフィックス藤沢 愛

肥満の予防や治療につながる効果的方法や、
やせ薬は将来登場するのでしょうか。
待ち遠しいです。

《2013年の年間成績（ART）を発表いたします》

採卵件数・・421例【～29歳25例、30～34歳60例、35～39歳114例、40歳～222例】

受精方法別
- 体外受精・・323例
- 顕微授精・・85例

融解件数・・361例【～29歳22例、30～34歳81例、35～39歳143例、40歳～115例】

移植件数・・408例【～29歳29例、30～34歳93例、35～39歳154例、40歳～132例】

妊娠数・妊娠率（移植あたりの胎嚢陽性率）・・158例(38.7%)
【～29歳13例(44.8%)、30～34歳46例(49.4%)、
35～39歳61例(39.6%)、40歳～38例(28.8%)】

先日所沢駅からクリニックへ向かって歩いていると、患者さんに声を掛けられました。
ARTで2人のお子様を出産できたと喜んでおられました。『人生がかわりました』といわれ、
この言葉を肝に銘じ、又1年全力で頑張っていきたいと思います。